

20 カミングアウト、どう受け止める？（性的マイノリティ）

（ナレーター）皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。

5

同性愛者や両性愛者、体と心の性が一致しない人など「性的マイノリティ」の当事者にとって、自分のことを誰かに打ち明けるかどうかは、とても難しい問題です。当事者お2人の話をもとにお伝えします。

10

（Aさん）僕は20歳（はたち）で、体は女性で心の性は男性のトランスジェンダーです。学校で女の子の制服を着ないといけなかったり、女性扱いされたりするのが辛く、生きてるのが苦しかったんです。それで、孤立するのも覚悟の上で、勇気を振り絞り、先生やクラスメートに打ち明けました。少しずつですが、理解してくれて、僕を特別扱いせず、一クラスメートとして接してくれました。

15

（Bさん）僕は21歳の男性で両性愛者、バイセクシャルです。母が気づいて聞いてきたので、思い切って「そうだよ」と伝えました。すると母は「あなたであることは変わらないから」って言うてくれたんです。僕を否定しないでくれて、母の前では自然体でいられるようになった気がします。カミングアウトをするかどうかは自分で決めることだし、信頼してる相手だからこそ話せる事だと思います。

25

30 (Aさん)でも、大好きな祖母には、話さないつもりです。ショックを与えたくないからです。人には誰でも固定観念や偏見はあって、簡単に変えられるものではないと思っています。でも、自分の知らない境遇の人に出会ったら、頭から否定せずに、まずは聞いてみてほしいです。

35 (Bさん)僕は、自分が積極的にカミングアウトしたり、仲間と啓発活動したりすることで、他の人も本当の自分を打ち明けられるような環境や居場所をつくっていききたいです。

40 (ナレーター)カミングアウトは、その人の生き方や尊厳、アイデンティティーに関わる人生の一大事です。本人の了解を得ないで勝手に第三者に暴露する「アウトティング」は絶対にしてはいけません。その人を傷つけ、命にもかかわる行為です。身近な人から告白を受けたら、まずはじっくりと話を耳を傾けましょう。その人は、あなたの前では「ありのままの自分でいたい」と心から願っているのです。